

Let's Smile and Say "Hello"

～ 笑顔でひと声かけよう ～

# サンプラザ

第 6 8 号

平成28年7月10日発行

院長就任のご挨拶～ " 不易流行 " ということ～

院長 神吉和重

救急蘇生勉強会開催

「看護の日」イベント開催

看護部長 大橋由美子

全国DPC医療機関と当院の主要疾患平均日数比較

検証防災訓練を行いました

医療げんば紹介【医事課編】

新入職員歓迎会開催

藻岩山に登りました

病院周辺のゴミ拾いを行いました

金博士の『本音で語ろう』" 医者とさじ加減 "

総合診療科 金 有世

お知らせ「睡眠時無呼吸症候群の検査について」

医療法人サンプラザ 新札幌循環器病院



# 院長就任のご挨拶

～“不<sup>ふ</sup>易<sup>えき</sup>流<sup>りゅう</sup>行<sup>こう</sup>”ということ～

院長 <sup>かん</sup> <sup>き</sup> <sup>かず</sup> <sup>しげ</sup>  
神 吉 和 重



当院は、昭和56年に金有世医師（現顧問）が開設した新札幌サンクリニックが始まりです。その後、消化器（胃腸）疾患の診療を中心とした医療法人となりましたが、平成10年4月に、佐々木孝医師（現理事長）が院長に就任、新札幌循環器病院と名称を新たにし、循環器疾患を専門とした診療をスタートさせました。それから18年、厚別地区で唯一心臓血管外科手術の行える施設として、一貫して24時間体制で救急患者を受け入れ、地域のみなさんとともに歩んできました。

このたび、院長に就任するにあたり、“不易流行（ふえきりゅうこう）”ということ強く意識しています。不易とは変わらないこと、流行とは時々に変化していくことを意味します。これは蕉風俳諧（しょうふうはいかい）の理念でいろいろな解釈があるようですが、私が理解しているところとしては、あるべき本質の姿形は不変である、しかしそれを守り続けるためには、常に良いものを求めて変化しなければならない、ということです。

当院にとっての不易とは、患者さんの健康な生活を支えることを最優先の目的とし、奉仕の精神に基づく思いやりのある良質な医療を提供するという事です。初代院長の金医師の開設当初からそれは変わらない理念です。そして、今後もそれを変わらず実践していくための流行とは、日進月歩の新たな診断機器や治療方法を積極的に取り入れ、患者さんのさまざまな要求に的確にこたえていくことだと考えています。私が当院に着任してから約7年が経過しましたが、その間にもさまざまな変化がありました。狭心症の診療ひとつとってみても、以前は入院しなければ行えなかった冠動脈の診断が、外来

CT検査で行えるようになりました。心臓の拍動を止めて行われていた冠動脈バイパス術が、心臓を拍動させたままで行えるようになり、それどころか、カテーテル治療の進歩によって、1時間もかからずに局所麻酔で治療が行えるようにもなりました。

しかし、患者さんと家族にとって、病院を受診し治療を受けるということが、不安だらけの一大事であることに変わりはありません。いくら機材やテクニックが進歩しても、そんな不安をかかえた外来患者さんが最初に接するのは一人の受付職員であり、血圧を測るのは一人の看護師です。一人ひとりの職員が、それぞれの持ち場でそれぞれの不易流行を実践できる環境をつくり、それを病院全体の不易流行につなげることが私のこれからの仕事だと考えています。私が院長になると同時に、循環器内科の山田医師、腎臓内科の清水医師が副院長となります。これもひとつの流行かもしれませんが、全職員一丸となって患者本位の診療を行っていくということは全く変わりません。

これからも、地域のみなさんに信頼される病院を目指してまいりますので、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。また、診療連携をいただいている近隣の医療機関の先生方には、今後ともご指導・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

最後に、長期にわたり、院長を務められた佐々木孝前院長への感謝の言葉をもって、院長就任のご挨拶とさせていただきます。“長い間本当にお疲れさまでした。でも楽隠居はまだまだずっと先です。先生の診察を待っている患者さんたちが、たくさんおられますから。”

# 救急蘇生勉強会開催

6月15日（水）に、院内において救急蘇生勉強会を開催しました。

この勉強会は毎年行っており、今回は新入職員含め、各部署より27名の職員が参加して行われました。まず、神吉院長よりスライドにて救急蘇生に関する講義があり、その後、参加者が実際にAED（自動体外式除細動器）と心肺蘇生訓練用の人形を使用し、訓練を行いました。

AEDは一般市民でも使用できるように設計されている小型の医療機器で、心停止の際に機械が自動的に解析を行い、必要に応じて電気ショックをあたえ、心臓の状態を正常に戻す機能を持っています。現在は、学校やホテル・一般企業など多くの場所に設置されていますが、当院でも1階と3階に設置しています。

最初はスムーズに扱えなかった職員も、繰り返し行ううちに、正しい使用方法を覚えることが出来ました。今後も、全職員が緊急時にも慌てず、冷静に対処できるよう、勉強会を継続して行います。



## 『看護の日』イベント開催

看護部長 大橋 由美子

今年も「看護週間」（5/8～14）、「看護の日」（5/12）にイベントを行いました。

例年通り、5月12日には「ふれあい看護体験」として、大麻高校の学生5名が看護の体験をしました。みなさん将来は看護師を希望しており、体験後は、より一層その思いが膨らんだようでした。頑張って、夢が現実になることを願っています。

また、5月13日には新さっぽろサンピアザ周辺にて、ティッシュペーパーを配布し看護の日をアピールしました。天気に恵まれ人通りも多く、あっという間に終了してしまいました。来年は、もう少し多く配ろうと思っています。





# 全国DPC医療機関と 当院の主要疾患平均日数比較

平成24年4月よりDPC医療機関（入院費包括支払制度）となり、4年が経過しました。  
今回、主要疾病に対する、当院と全国の退院患者調査（参加2,942病院）の平均入院日数を比較した結果をご報告します。

【調査期間】（当院）平成27年4月1日～平成28年3月31日  
（全国）平成26年4月1日～平成27年3月31日

病名	診断群分類	当院平均 入院日数	全国平均 入院日数	比較
急性心筋梗塞 手術あり（PCI）、処置あり（シンチ）	050030xx97030x	15.3日	16.5日	-1.2日
狭心症 手術なし、処置あり（CAG）	050050xx99100x	4.3日	3.7日	0.6日
狭心症 手術あり（PCI）、処置1、2なし	050050xx02000x	3.8日	5.7日	-1.9日
心不全 手術なし、処置なし	051030xx99000x	21.4日	21.7日	-0.3日
非破裂性大動脈瘤・腸骨動脈瘤 手術あり（ステントグラフト）	050163xx03x0xx	15.0日	16.8日	-1.8日
閉塞性動脈硬化症 手術なし、処置なし	050170xx99000x	9.4日	9.2日	0.2日
閉塞性動脈硬化症 手術あり（EVT）	050170xx03000x	7.5日	9.8日	-2.3日

- ※ PCI（経皮的冠動脈インターベンション）・・狭くなった冠動脈にカテーテルを挿入し、拡げる治療
- ※ シンチ（シンチグラフィ）・・放射線を出す物質を投与し、その放射線をシンチカメラで検出し画像化する検査
- ※ CAG（冠動脈造影）・・カテーテルを経皮的に心血管に挿入し、心機能や狭窄度を調べる検査
- ※ ステントグラフト・・筒状のバネを血管内に留置し、動脈瘤の破裂を予防する治療
- ※ EVT（末梢血管インターベンション）・・狭くなった腎動脈・下肢動脈にカテーテルを挿入し、拡げる治療

## 検証防災訓練を行いました

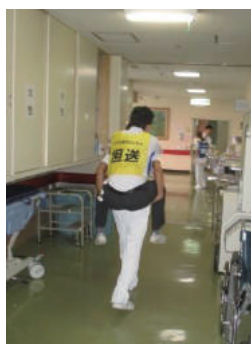


6月10日（金）15時より、検証防災訓練を実施いたしました。

今回の訓練は、地震や火事などの災害発生時に、迅速かつ安全に患者さんを避難させることができるよう、夜間帯に3階の洗濯・乾燥室から火災が発生したという想定で行いました。

多数の職員が見学し、職員8名が実際の訓練に取り組み、被害状況の確認・通報、初期消火、入院患者さまの避難誘導を行いました。

職員の防災意識を高め、災害発生時に的確な対応が出来るよう、今後も継続して訓練を行っていきます。



# 医療のげんば紹介

## 【医事課編】

今号より、各部署の業務をご紹介します。第1回目は「医事課」。「医事課」は、当院において医療事務を行っている部署です。

Q：「医療事務」とは、主にどのような仕事ですか？

A：受付窓口、カルテ作成、医療費の計算、お会計、保険請求、医師の事務作業補助などを主に行っています。

Q：なぜ、毎月保険証の確認が必要なのですか？

A：保険証の種類や一部負担金割合などの確認のため、月1回の提示をお願いしています。保険証の変更が確認出来なかったり、有効期限切れなどの場合、医療費の全額が自己負担となってしまいます。

Q：「保険請求」とは、どのような業務ですか？

A：患者さんごとにひと月分の診療行為をまとめ、患者さんの自己負担額以外を国などに請求します。毎月1日～10日迄、前月の外来・入院患者さん全てを対象に点検する、専門的で重要な業務です。

<医事課よりみなさまへ>「医事課」では他にも様々な業務を行っておりますが、医療費や保険制度など疑問がありましたらお気軽にお尋ねください。患者さんの不安を軽減できるよう、常に心がけています。



入院担当



外来担当



「診療点数早見表」  
必需品です



## 新入職員歓迎会開催

4月27日（水）にアサヒビール園において、職員とご家族あわせて97名が参加し、毎年恒例の新入職員歓迎会を開催しました。

佐々木理事長のご挨拶、馬場副理事長の乾杯に続き、新入職員のうち参加された16名一人一人に、壇上にて今後の抱負を語っていただきました。

最初は緊張気味だった新入職員も、他の職員と交流する



なかで、徐々に打ち解けた様子で歓迎会を楽しんでいました。

最後に、山田副院長の激励のご挨拶があり、盛会のうちに閉会いたしました。







# 藻岩山に登りました



6月11日(土)に、毎年恒例の藻岩山登山に行って来ました。

天気は晴れ、気温は20度。佐々木理事長をはじめ、職員とその子供たちの総勢22名が集まりました。

藻岩山の登山道は全部で5コースありますが、慈啓会病院前コース(片道約3Km)を1時間程度で登ります。今回は子供たちの頑張りが目立ちました。8歳の男の子は頂上へ1番に到着、4歳の男の子は自分の足で頂上に立ちました。また、2歳の女の子はお父さんにおんぶしてもらい、頂上まで来ることができました。

雨にあたることも多い恒例の登山ですが、この日は最高のコンディションの中で、自然を感じながら山道を歩くことができ、野生のリスの登場に大興奮するなど、とても楽しく充実した登山となりました。



## 病院周辺のゴミ拾いを行いました

4月13日(水)に、今年で4年目となる病院周辺の道路及び駐車場・公園のゴミ拾いを行いました。

毎回、院内でボランティアを募って行っていますが、今回は佐々木理事長・神吉院長をはじめ、看護師・検査技師・薬剤師・栄養士・事務職員など、過去最高の30名が参加しました。

小雨まじりの少し肌寒い天候でしたが、30分ほどでたくさんのゴミを拾うことができ、病院周辺はとてもきれいになりました。

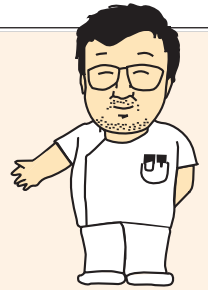
今後も、地域の環境美化のために、様々な取り組みを継続していきたいと思います。



## 金博士の

『本音で語ろう』⑥⑥

## “ 医者 と さじ加減 ”



「過ぎたるは及ばざるが如し」という名言がありますが、おくすりの場合には「さじ加減」という言葉があります。現代では、さまざまな病気に対して、おくすりだけに頼るのではなく、生活習慣の改善を必要とされる場合が多くなってきました。

食事・運動・ストレス・睡眠など、日常生活に関わる問題はおくすりの話よりも多くの時間をかけざるを得ないのが、現代の診察室の姿です。健康的でバランスの取れた生活習慣を身に付けてもらうことに焦点が合わされますが、実はここで「さじ加減」という言葉が重要になってきます。

言い過ぎても押し付けになるし、言わな過ぎても自覚が不足しがちになります。さらに、患者さんの生活はその御家族の生活と切り離すことはできません。特に、プライバシーに立ち入り過ぎないように注意しつつ、家族が協力して生活習慣の改善に取り組むことの大切さをお話します。患者さんと御家族の話を良く聞いて「さじ加減」ともいえる調整をして差し上げるのです。

過剰にならず、なおかつ不足にならないよう、家族がともに協調して生活していけるように支えていくのが、現代の医者の「さじ加減」のあり方だと思っています。

～皆様の御健康を願いつつ～

総合診療科 金 有世

## お知らせ

### 「睡眠時無呼吸症候群の検査について」

どんな症状があるの？

日中のねむけ



大きないびき



起床時の頭痛



熟睡感がない



「睡眠時無呼吸症候群」とは、睡眠中に何度も呼吸がとまる状態(無呼吸)を繰り返す病気です。循環器疾患の合併症を起こしやすくなるほか、日中の眠気などから居眠り運転による交通事故を引き起こしやすくなると言われておりますので、早期発見・早期治療をおすすめします。

検査方法は？

「睡眠ポリグラフィー」という検査を行います。基本的には、一晚個室に入院していただき、さまざまな電極やセンサーなどの端子を身体に取り付けて眠り、睡眠の状態を調べます。

センサーなどが少し邪魔に感じるかもしれませんが、決して痛みを伴うものではありませんので、安心して検査を受けていただけます。また、入院に必要な日用品は備え付けられています。

検査結果は、後日外来にお越しいただき、お伝えしています。

※ 検査を希望される方は、外来を受診して医師にご相談ください。当院の全医師が担当しています。

# 外来担当医診療予定表 (平成28年7月10日現在)

	月			火		水			木		金			土		
午前	予約制	予約制		予約制	予約制		出張医			予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	医師交代制	総合診療 金
	佐々木	山田	清水	佐々木	馬場	金	北大納谷	大坪	清水	馬場	大坪	佐々木	神吉	山田		
午後	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制		出張医		出張医	予約制	予約制		予約制	出張医		
	神吉	馬場	藤井	佐々木	大坪		北大納谷	馬場	消化器科	佐々木	山田		藤井	清水		

## 診療受付時間

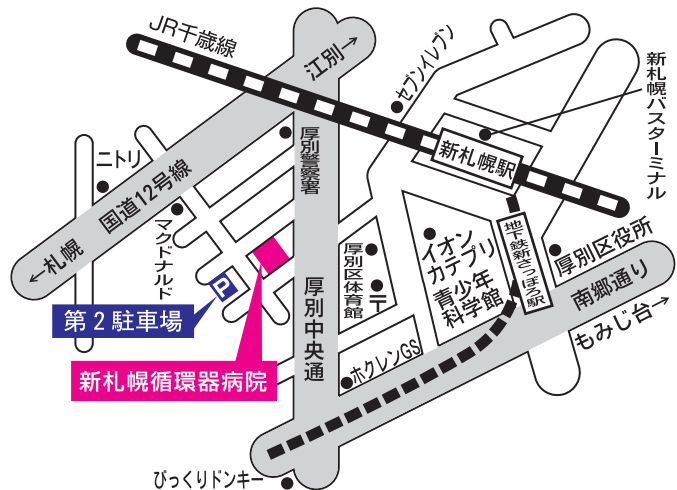
平日	午前	9:00 ~ 12:00
	午後	1:30 ~ 4:30
土曜日	午前	9:00 ~ 12:00

- \* 新患受付時間 午前 9:00~11:00  
午後 1:30~3:30
- \* 土曜日は午前からのみの診療となります。
- \* 循環器救急のお問い合わせは24時間対応しています。

## 診療科目

- 心臓血管外科 人工透析内科
- 循環器内科 胸部外科
- 腎臓内科 リハビリテーション科

## 病院案内



■ 札幌市厚別区厚別中央2条4丁目9番25号  
TEL 011-892-1556

■ 地下鉄 (5番出口) ・ JR ・ バスターミナルより徒歩5分

■ 面会時間 平日 午後 2:00 ~ 午後 8:00 / 土日祝 午前 11:00 ~ 午後 8:00



お車で  
ご来院の  
患者様へ

病院横駐車場 (18台) / 第2駐車場 (18台)

コナミスポーツ立体駐車場につきましては、割引 (無料) 利用はできませんのでご注意ください。

■ ホームページ随時更新しております。ぜひ、御覧ください。 <http://www.sshoc.jp>

編集・発行/医療法人サンプラザ 新札幌循環器病院 広報委員会 責任者/馬場 政美 顧問/金 有世